

株式会社 京都銀行

京都市下京区烏丸通松原上る
郵便番号600-8652

第106回「京銀クォーターリー・サーベイ」(景気動向調査)の 調査結果のご報告

京都銀行ならびに京都総合経済研究所では、地元京都における景気動向および企業活動の変化をタイムリーに把握するため、今般、京都府内企業を対象に「京銀クォーターリー・サーベイ」(景気動向調査)を実施いたしました。その調査結果がまとまりましたので、ご報告申し上げます。

<要 旨>

京都企業の業況判断DI値(「良い」－「悪い」)は、全産業ベースで前回5月調査の▲9から2ポイント低下して今回8月調査では▲11となりました。これで4四半期連続のマイナス(「悪い」超)水準で、直近での最低値(2016年8月調査の▲14)近くまで悪化するなど、京都企業の景況感は後退局面入りの兆しがみられます。

製造業(▲8→▲15)は7ポイントの大幅続落で、なかでも機械業種(+1→▲17)は前回(+16→+1)に続く大幅悪化となり直近2四半期で33ポイントもの急落で製造業全体を押し下げています。一方、非製造業(▲10→▲6)は4ポイント改善し一段のマイナス幅拡大に歯止めをかけ、幅広い業種で改善が進むなど底固さが窺えます。

こうした中、先行き(3か月後)については、今回調査の▲11から▲8へとマイナス圏ながら小幅改善を見込み、機械業種(▲17→▲5)でも今回をボトムに持ち直しに向かうとの期待感も示されました。

海外経済の減速によって輸出・生産活動に弱めの動きが続く中、機械業種の悪化が一段と進むなど、足元では外需停滞の影響が色濃く反映されています。米中貿易摩擦の収束が依然見通せず、今後、外需の停滞が内需に波及するリスクが懸念されるほか、消費税率引き上げによる個人消費の落ち込みなど、景気の不透明感がぬぐえない状況が続いています。こうした中、今後持ち直しへと向かい後退局面入りを回避できるのか、京都企業の動向は一段と注目されることとなります。

以 上

第 106 回「京銀クォーターリー・サーベイ」調査結果

(京都企業の景気動向調査)

～2019年8月調査～

目 次

I. 調査対象、集計・分析方法	—————	(表紙裏面)
II. 業況判断調査	—————	p. 1
1. 要約		
2. 調査結果について		
3. 業況判断D I の推移(総合、規模別、業種別)		
4. 企業活動の状況(主要項目D I 値の総括表)		
5. 業種別の企業活動D I の推移(全業種、製造業、非製造業、機械業種)		
III. 実数調査	—————	p. 9
・売上高、経常利益、設備投資額、I T 投資、研究開発費		
IV. 付表・付図	—————	p. 1 1
(1) 付表：項目別D I と主な変動業種		
(2) 付図：業種別業況判断の推移(産業天気図)		

2019年9月

京 都 銀 行

株式会社 京都総合経済研究所

I. 調査対象、集計・分析方法

1. 調査対象期間 2019年8月1日～8月15日
 【参考】期間中の為替相場（中心、平均値）… 106.39 円／ドル
 ” 株価（日経平均終値の平均値）… 20,764.90 円

2. 調査対象企業数 京都府に本社を有する企業を中心に478社
 (京都銀行本支店94カ店の取引先より選定)

3. 今回の回答社数 478社中 424社 (回答率88.7%)

製造業	216	非製造業	208	
和装繊維	9	卸売業	66	
その他繊維	12	和装繊維	(7)	
金属製品	24	その他繊維	(8)	
機械業種	78	機械器具	(10)	
一般機械	(30)	食料品	(6)	
電気機械	(25)	その他	(35)	
輸送機械	(6)	小売業	31	
精密機械	(17)	建設業	43	
食料品	31	不動産業	14	
木材・木製品	6	運輸・倉庫業	21	
紙加工・印刷	18	サービス業	33	
化学	10			(従業員数)
プラスチック製品	7	大規模企業	16	(500人以上)
窯業・土石	7	中規模企業	102	(100～499人)
その他製造	14	小規模企業	306	(99人以下)

4. 集計・分析方法

「景況判断調査」における「DI」(ディフュージョン・インデックス)の計算方法は以下の通り。

$$DI = \text{「第1選択肢の回答社数構成比(\%)」} - \text{「第3選択肢の回答社数構成比(\%)」}$$

例えば、業況判断では第1選択肢「良い」の社数構成比から第3選択肢「悪い」の社数構成比を引いて算出している。

(例)	業況判断	第1選択肢「良い」	40%	20%
		第2選択肢「普通」	30%	40%
		第3選択肢「悪い」	30%	40%
		DI (ディフュージョン・インデックス)	+10	▲20

Ⅱ. 業況判断調査

1. 要約

- 全産業DIは、マイナス幅が一段と拡大し、後退局面入りの兆しがみられる。

製造業は、7ポイントの大幅続落で4四半期連続マイナス水準。

機械業種は、急激な環境悪化で18ポイントもの大幅低下。

非製造業は、5四半期連続マイナス水準ながら4ポイント改善で、一段の悪化に歯止め。

業況(現況)判断の特徴

業況判断DI値は、前回5月調査の▲9から2ポイント低下して▲11となり、4四半期連続でマイナス(「悪い」超)水準となった。非製造業は4ポイント改善しマイナス幅を縮小したものの、製造業が7ポイント低下しマイナス幅を拡大した。今回の結果、2018年2月調査(+5)をピークに6四半期連続の低下で、直近での最低値(2016年8月調査の▲14)近くまで悪化するなど、京都企業の景況感は後退局面入りの兆しがみられる。

製造業

前回の▲8から今回は▲15へと7ポイント低下で、4四半期連続マイナス水準となった。個別業種をみると、化学(±0→+40)がプラス水準に転じ、窯業・土石(+33→+29)が堅調を維持した一方、木材・木製品(▲17→▲67)や金属製品が(±0→▲4)などが後退した。なかでも機械業種(+1→▲17)は18ポイントの大幅悪化で、一般機械(+24→+3)がプラス幅を大幅に縮小し、電気機械(▲11→▲36)や精密機械(▲13→▲35)がマイナス幅を大幅に拡大するなど急速に悪化している。なお、機械業種は、前回の15ポイント低下(+16→+1)に続く大幅低下で、2四半期であわせて33ポイントもの急落となっている。

非製造業

前回の▲10から今回は▲6へと4ポイント上昇し、5四半期連続のマイナス水準となったものの、一段の悪化に歯止めをかけた。個別業種をみると、機械器具卸(+9→▲40)がマイナス水準へ後退したほか、小売業(▲10→▲16)や不動産業(▲7→▲14)がマイナス幅を拡大したものの、建設業(+2→+19)がプラス幅を大幅に拡大し、その他繊維卸(▲40→±0)やサービス業(▲9→±0)が中立水準に持ち直した。

規模別

中規模企業(▲17→▲19)や小規模企業(▲7→▲8)がマイナス幅を拡大し、大規模企業(±0→▲25)がマイナス水準に後退した。

業況の先行き(3か月後)の予想

先行き(3か月後)については、全産業ベースで▲8と改善に向かう見通しとなっている。製造業(▲15→▲7)は8ポイントの大幅上昇でマイナス幅を縮小する一方、非製造業(▲6→▲8)はマイナス幅をいくぶん拡大するとの見込みである。

表1 業況判断DI(「良い」と答えた企業の割合-「悪い」と答えた企業の割合)の推移

	(社数)	2018年	2019年			
		11月	2月	5月	8月 (前回予想)	11月(予想)
全産業	424	▲2	▲6	▲9	▲11 (▲10)	▲8
製造業	216	▲2	▲5	▲8	▲15 (▲7)	▲7
非製造業	208	▲2	▲7	▲10	▲6 (▲14)	▲8
大規模企業	16	7	▲17	0	▲25 (0)	▲19
中規模企業	102	▲11	▲14	▲17	▲19 (▲17)	▲9
小規模企業	306	0	▲3	▲7	▲8 (▲9)	▲7

2. 調査結果について

- 京都企業の業況判断DIは、全産業ベースで前回5月調査の▲9から今回8月調査では▲11に低下して4四半期連続のマイナス水準となった。今回の結果、2018年2月調査(+5)をピークに6四半期連続の低下で、直近での最低値(2016年8月調査の▲14)近くまで悪化するなど、京都企業の景況感は後退局面入りの兆しがみられる。
- 製造業(▲8→▲15)は7ポイントの大幅低下で4四半期連続のマイナス水準に沈んだものの、非製造業(▲10→▲6)は依然マイナス圏ながら4ポイント改善し一段の悪化に歯止めをかけた。
- 業種別では、製造業では化学が改善し窯業・土石が堅調を維持したものの、一般機械、電気機械、精密機械といった機械業種が大幅に悪化し、製造業全体を押し下げた。一方、非製造業では、機械器具卸や小売業、不動産業などが悪化したものの、建設業やその他繊維卸、サービス業など幅広い業種で改善した。
- 規模別では、調査対象企業の7割超(72%)を占める小規模企業(▲7→▲8)、2割超(24%)を占める中規模企業(▲17→▲19)がマイナス幅を拡大し、大規模企業(±0→▲25)がマイナス水準に後退した。
- 各項目別では、製造業は、受注・需要(▲13→▲22)が機械業種を中心に大幅悪化したことから、操業度(+1→▲6)が低下し、在庫(+7→+6)も過剰傾向が続いた。そのため売上高(▲15→▲23)、収益(▲11→▲18)がともに悪化し、総合判断もマイナス幅を拡大している。一方、非製造業では、受注・需要(▲14→▲12)がいくぶん持ち直し、売上高(▲13→▲14)が底固く推移する中、仕入価格(+46→+28)の上昇が緩和され、収益(▲17→▲11)がマイナス幅を縮小し、総合判断もマイナス幅を縮小した。
- 先行き(3か月後)については、3ポイント上昇し▲8と小幅改善するとしている。製造業(▲15→▲7)は8ポイント上昇し今回急落した機械業種(▲17→▲5)が持ち直す見込みとなっているものの、非製造業(▲6→▲8)は慎重な見通しとなっている。
- 今回調査で特に注目していた機械業種は、受注・需要(▲4→▲23)が2018年8月調査(+33)をピークに1年間で実に56ポイント急落したことを受け、業況判断DIが直近2四半期で33ポイントも急落している。リーマン・ショック時の大急落(業況判断DIが2008年8月:+4→09年2月:▲58と2四半期で62ポイント悪化)には遠く及ばないものの、市場環境が急速に冷え込んでいる状況が窺える一方で、先行き(▲5)に対する回復期待も示された。
- 非製造業では、10連休や改元特需、長雨など夏場の天候不順、10月の消費税率引き上げなど、さまざまな影響を受ける中、全体としては底固く推移している。サービス業や建設業で改善が進む一方で、ホテル需要がピークアウトしつつある不動産業やスーパーを中心とした小売業などにも下振れの懸念が広がりつつある。
- このように今回調査では、海外経済の減速によって輸出・生産活動に弱めの動きが続く中、受注・需要の大幅減退が続く機械業種が一段と悪化するなど外需停滞の様相が顕著となった。米中貿易摩擦の長期化に伴う外需停滞の内需への影響波及に加えて、消費税率引き上げなど、非製造業においても先行きの不確実性が高まる中、京都経済が、このまま後退局面入りしてしまうのか、あるいはここで下げ止まり再び回復への活路を見出してゆけるのか、大きな正念場を迎えている。

3. 業況判断DIの推移

図1-1 業況判断DI推移（「良い」企業の割合－「悪い」企業の割合）

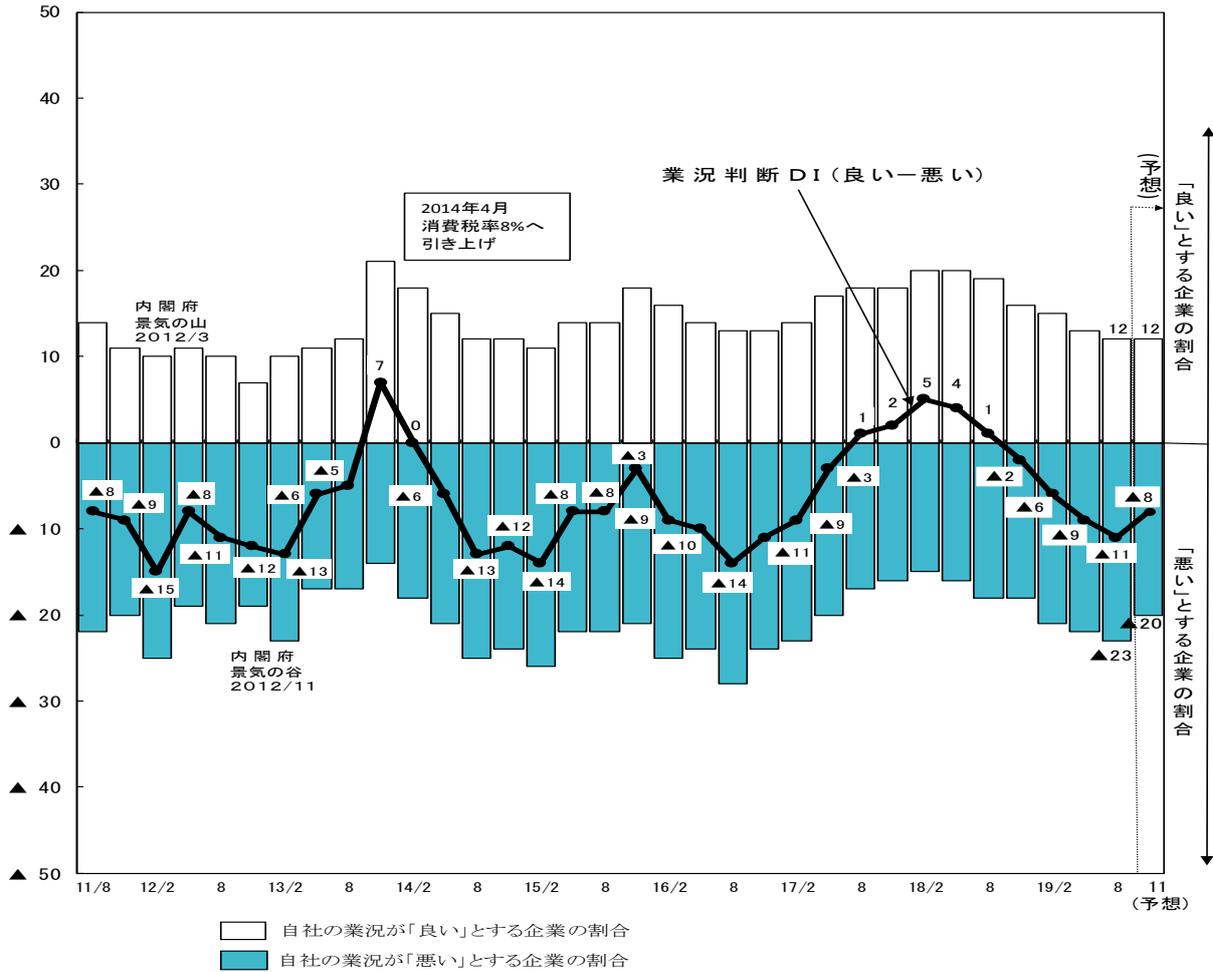


図1-2 規模別の業況判断DI推移

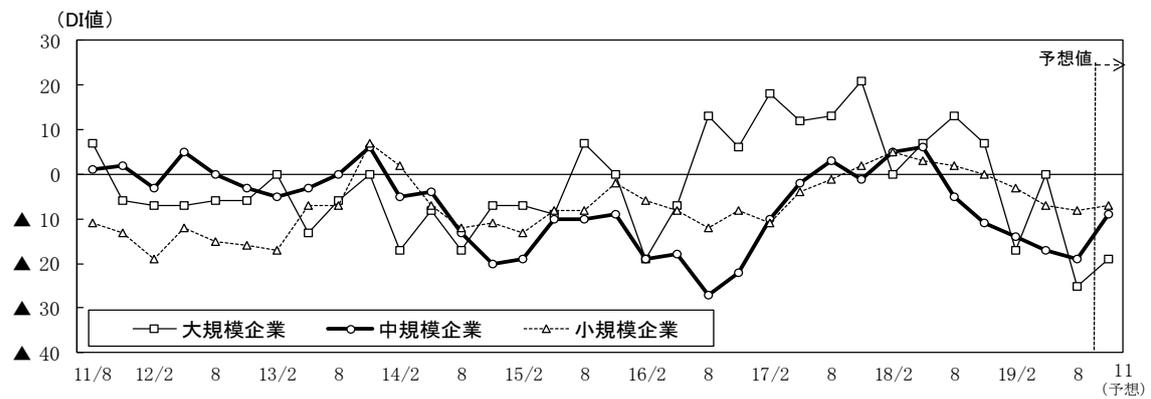
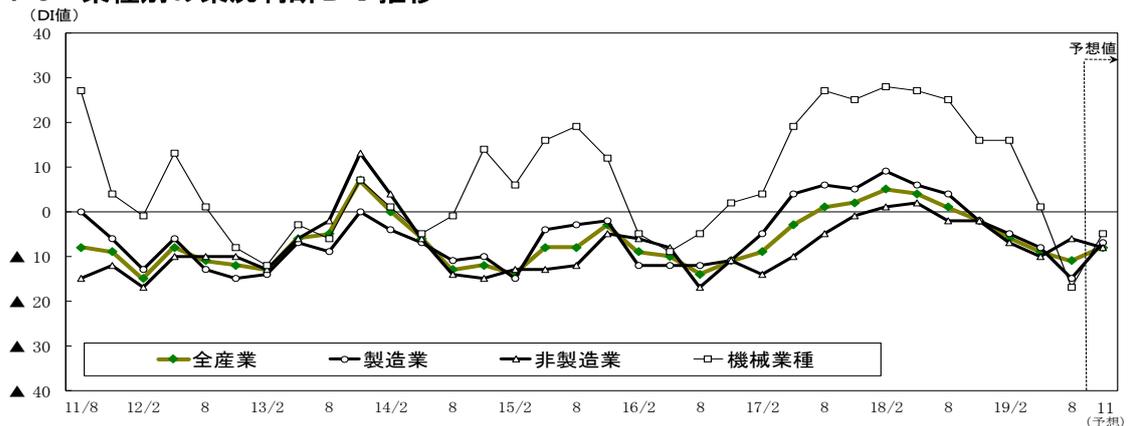


図1-3 業種別の業況判断DI推移



4. 企業活動の状況

企業の具体的な活動状況をみると、製造業は、受注・需要(▲13→▲22)が機械業種を中心に大幅悪化したことから、操業度(+1→▲6)が低下し、在庫(+7→+6)も過剰傾向が続いた。そのため売上高(▲15→▲23)、収益(▲11→▲18)がともに悪化し、総合判断もマイナス幅を拡大している。一方、非製造業では、受注・需要(▲14→▲12)がいくぶん持ち直し、売上高(▲13→▲14)が底固く推移する中、仕入価格(+46→+28)の上昇が緩和され、収益(▲17→▲11)がマイナス幅を縮小し、総合判断もマイナス幅を縮小した。

表2 主要項目DI値の総括表

		2019年2月	2019年5月	2019年8月	前回比	(2019年11月予想)
自社業況判断 DI (「良い」-「悪い」)	全産業	▲ 6	▲ 9	▲ 11	▲ 2	(▲ 8)
	製造業	▲ 5	▲ 8	▲ 15	▲ 7	(▲ 7)
	非製造業	▲ 7	▲ 10	▲ 6	4	(▲ 8)
製・商品の 受注・需要DI (「強い」-「弱い」)	全産業	▲ 9	▲ 14	▲ 17	▲ 3	(▲ 13)
	製造業	▲ 9	▲ 13	▲ 22	▲ 9	(▲ 14)
	非製造業	▲ 9	▲ 14	▲ 12	2	(▲ 12)
操業度 DI (「高水準」-「低水準」) (製造業のみ)	全産業	7	1	▲ 6	▲ 7	(0)
	製造業	7	1	▲ 6	▲ 7	(0)
	非製造業	-	-	-	-	(-)
在庫水準 DI (「過剰」-「不足」)	全産業	2	5	3	▲ 2	(0)
	製造業	1	7	6	▲ 1	(3)
	非製造業	2	4	▲ 1	▲ 5	(▲ 3)
仕入価格 DI (「上昇」-「下落」)	全産業	37	41	29	▲ 12	(27)
	製造業	39	37	30	▲ 7	(22)
	非製造業	35	46	28	▲ 18	(32)
販売価格 DI (「上昇」-「下落」)	全産業	6	6	5	▲ 1	(6)
	製造業	0	1	1	0	(2)
	非製造業	13	10	9	▲ 1	(9)
売上高DI (「強含み」-「弱含み」)	全産業	▲ 13	▲ 14	▲ 19	▲ 5	(▲ 13)
	製造業	▲ 15	▲ 15	▲ 23	▲ 8	(▲ 15)
	非製造業	▲ 11	▲ 13	▲ 14	▲ 1	(▲ 12)
企業収益DI (「良い」-「悪い」)	全産業	▲ 12	▲ 14	▲ 15	▲ 1	(▲ 13)
	製造業	▲ 10	▲ 11	▲ 18	▲ 7	(▲ 13)
	非製造業	▲ 14	▲ 17	▲ 11	6	(▲ 13)
雇用人員 DI (「過剰」-「不足」)	全産業	▲ 43	▲ 38	▲ 31	7	(▲ 31)
	製造業	▲ 39	▲ 34	▲ 19	15	(▲ 21)
	非製造業	▲ 47	▲ 42	▲ 43	▲ 1	(▲ 42)
設備投資姿勢 DI (「積極的」-「抑制的」)	全産業	▲ 8	▲ 11	▲ 9	2	(▲ 17)
	製造業	▲ 6	▲ 12	▲ 13	▲ 1	(▲ 19)
	非製造業	▲ 10	▲ 10	▲ 5	5	(▲ 15)
資金繰り DI (「余裕」-「逼迫」)	全産業	11	12	9	▲ 3	(9)
	製造業	14	17	11	▲ 6	(11)
	非製造業	8	7	8	1	(6)
金融機関からの 借入 DI (「増加」-「減少」)	全産業	▲ 11	▲ 8	▲ 11	▲ 3	(▲ 11)
	製造業	▲ 14	▲ 10	▲ 8	2	(▲ 10)
	非製造業	▲ 7	▲ 7	▲ 14	▲ 7	(▲ 11)

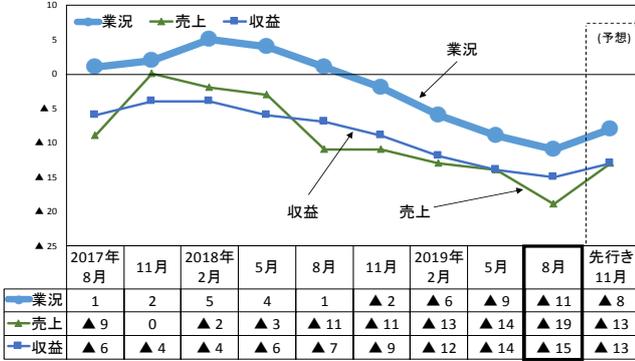
5. 業種別の企業活動D I の推移

全業種

業況

業況:4 四半期連続でマイナス水準となっている
 売上:マイナス幅が拡大し、悪化している
 収益:マイナス幅が拡大し、悪化している

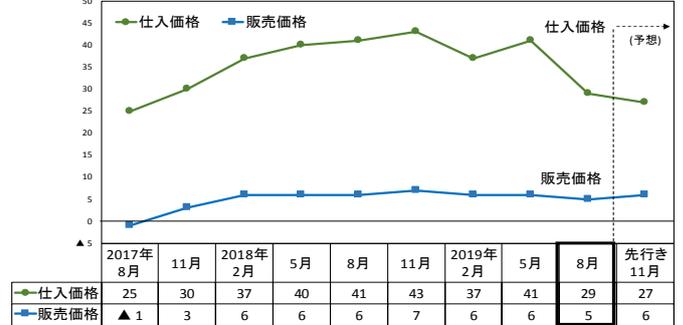
●業況、売上、収益の推移



価格

仕入価格:プラス(「上昇」超)幅が大幅に縮小している
 販売価格:8 四半期連続のプラス(「上昇」超)水準で、改善が続いている

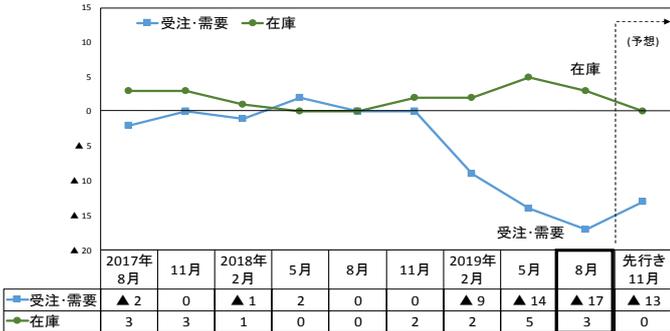
●仕入、販売価格の推移



受注・需要 在庫

受注・需要:一段と悪化している
 在庫:プラス(「過剰」超)幅を縮小している

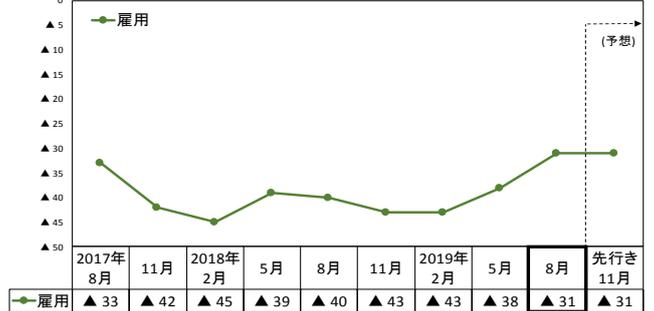
●受注・需要、在庫の推移



雇用

依然逼迫しているが、足元ではマイナス(「不足」超)幅を縮小している

●雇用の推移



設備投資

マイナス幅が縮小したもの、先行きは大幅な悪化予想で警戒感を強めている

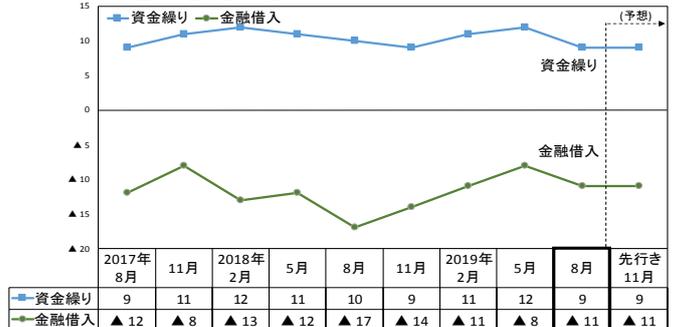
●設備投資の推移



資金繰り 金融借入

資金繰り:余裕余みの状態が続いている
 金融借入:借入圧縮姿勢を強めている

●資金繰り、金融借入の推移



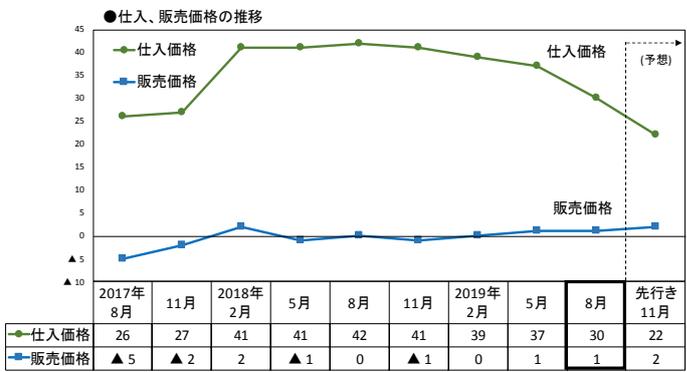
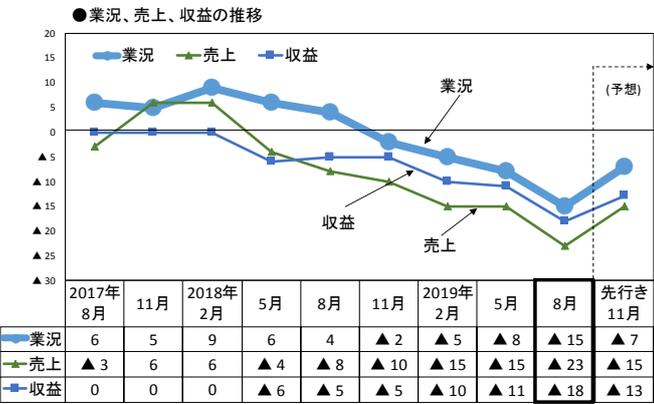
製造業

業況

業況:4 四半期連続でマイナス水準となっている
 売上:マイナス幅が拡大し、悪化している
 収益:マイナス幅が拡大し、悪化している

価格

仕入価格:プラス(「上昇」超)幅を縮小している
 販売価格:中立水準近辺で横ばいに推移している

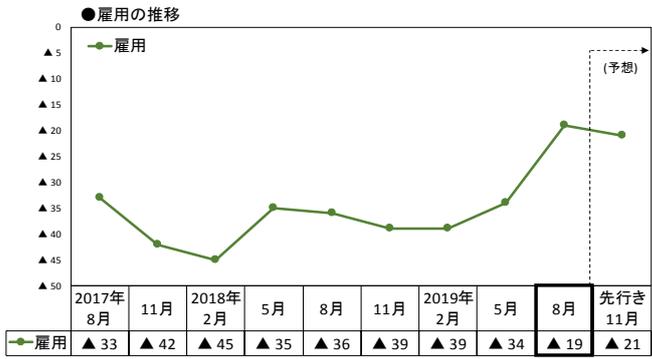
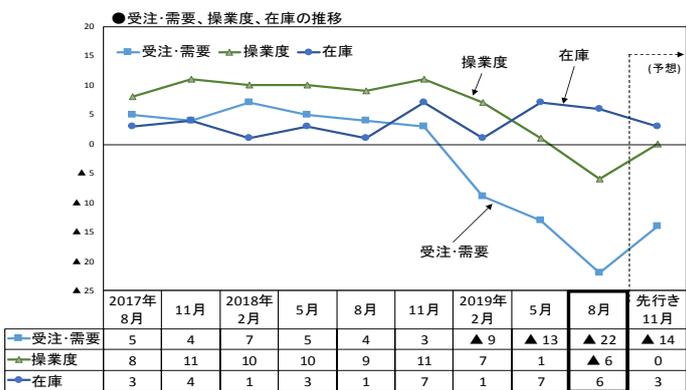


受注・需要 操業度、在庫

受注・需要:足元で急速に悪化している
 操業度:急速に悪化しマイナス水準に転じた
 在庫:ほぼ横ばいに推移している

雇用

依然逼迫しているが、足元ではマイナス(「不足」超)幅が大幅に縮小している

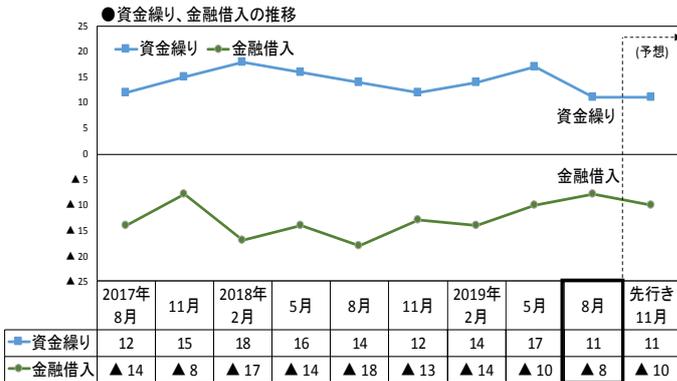
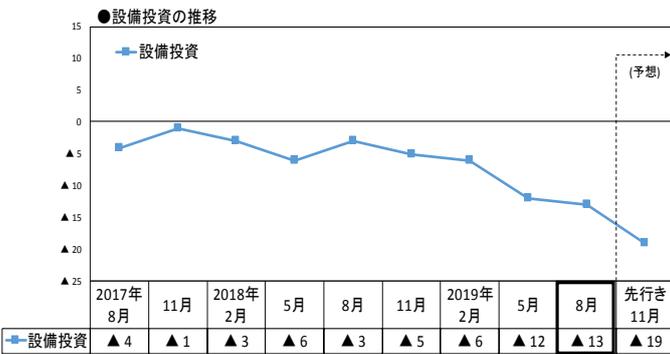


設備投資

足元でマイナス幅が拡大し、消極姿勢を強めている

資金繰り 金融借入

資金繰り:プラス幅が縮小したもの、余裕含みの状態が続いている
 金融借入:借入圧縮姿勢が続いている

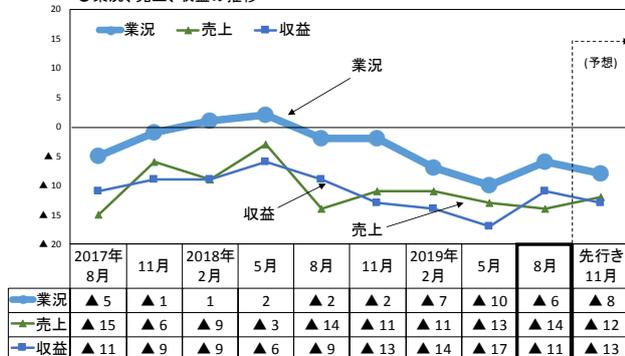


非製造業

業況

業況:5 四半期連続でマイナス水準となっている
 売上:マイナス幅が拡大し悪化している
 収益:マイナス幅が縮小している

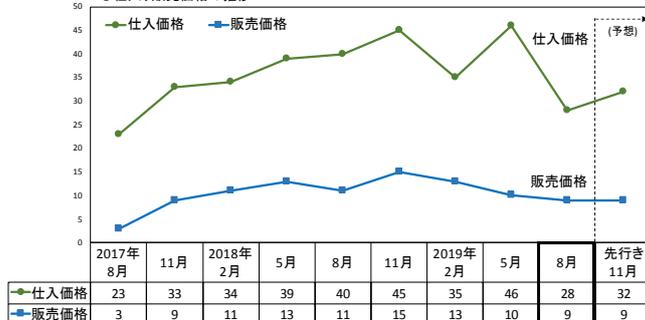
●業況、売上、収益の推移



価格

仕入価格:大幅にプラス(「上昇」超)幅を縮小している
 販売価格:プラス幅の縮小が続いている

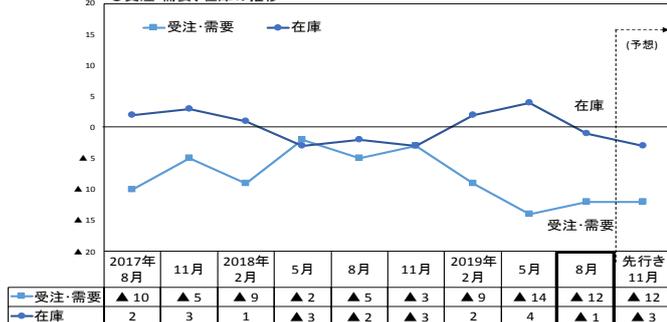
●仕入、販売価格の推移



受注・需要 在庫

受注・需要:マイナス幅が縮小している
 在庫:プラス水準を解消しマイナス(「不足」超)水準に転じた

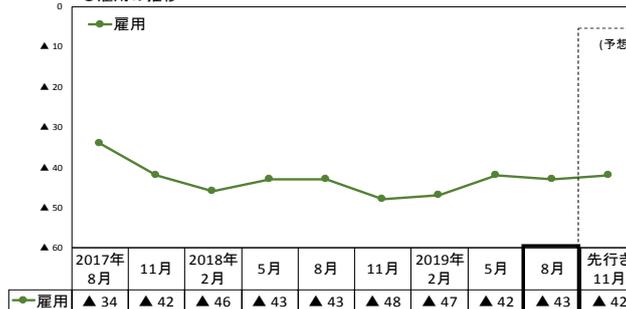
●受注・需要、在庫の推移



雇用

大幅なマイナス(「不足」超)水準が続いており、依然逼迫している

●雇用の推移



設備投資

マイナス幅が縮小したものの、先行きは大幅な悪化予想で警戒感を強めている

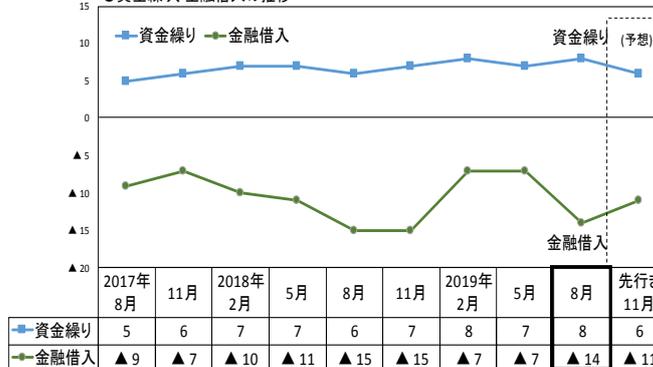
●設備投資の推移



資金繰り 金融借入

資金繰り:余裕含みの状態が続いている
 金融借入:借入圧縮姿勢を強めている

●資金繰り、金融借入の推移

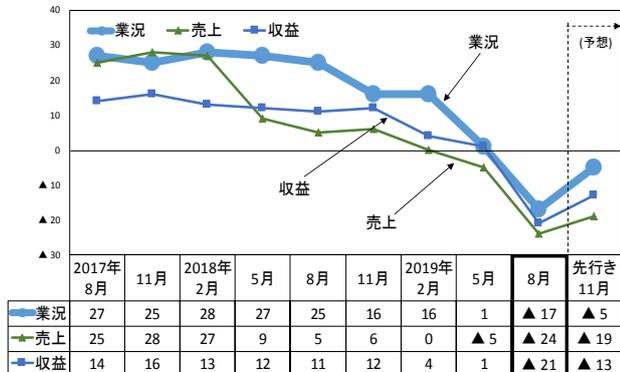


機械業種(一般機械、電気機械、輸送機械、精密機械)

業況

業況:大幅に悪化し、2016年8月以来のマイナス水準となった
 売上:足元で急速に悪化している
 収益:足元で急速に悪化しマイナス水準に転じた

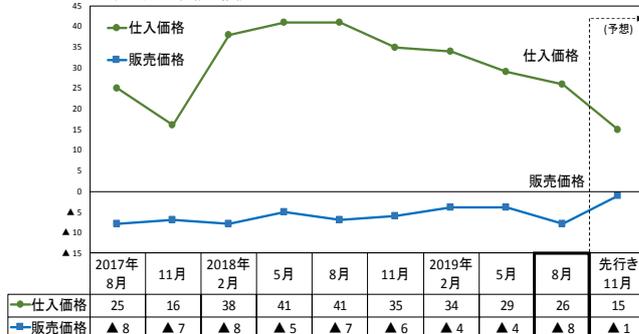
●業況、売上、収益の推移



価格

仕入価格:プラス(「上昇」超)幅を縮小している
 販売価格:マイナス(「下落」超)幅を拡大している

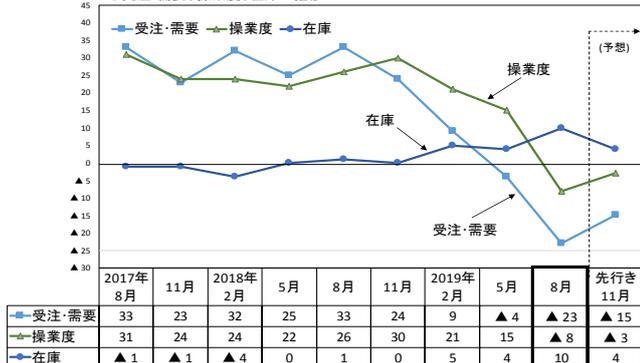
●仕入、販売価格の推移



受注・需要 操業度、在庫

受注・需要:マイナス水準を大幅に拡大した
 操業度:大幅に悪化しマイナス水準に転じた
 在庫:過剰感が増している

●受注・需要、操業度、在庫の推移



雇用

依然逼迫しているが、足元ではマイナス(「不足」超)幅を大幅に縮小している

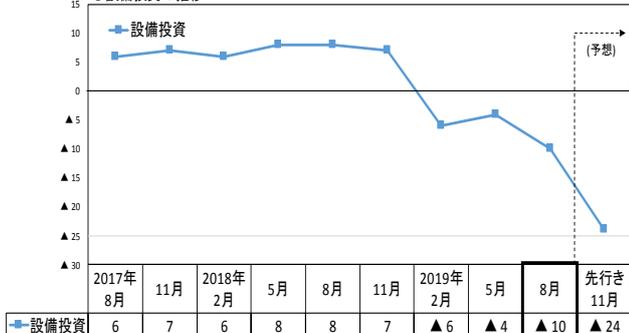
●雇用の推移



設備投資

抑制姿勢を強めており、先行きも大幅な悪化予想で警戒感を強めている

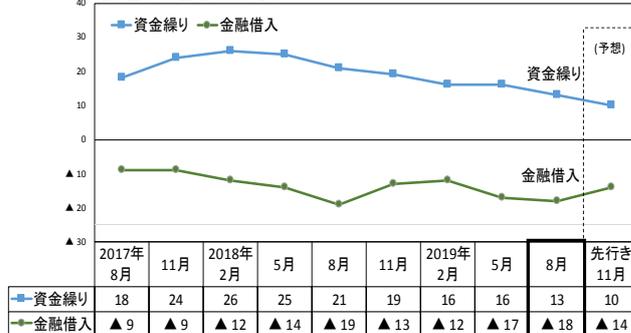
●設備投資の推移



資金繰り 金融借入

資金繰り:余裕含みの状態が続いているが、徐々に緩和されている
 金融借入:借入圧縮姿勢を強めている

●資金繰り、金融借入の推移



Ⅲ．実数調査（中規模企業、小規模企業）

京都の中規模企業および小規模企業の「売上高」、「経常利益」、「設備投資」、「IT投資」および「研究開発費」の実数調査の集計結果は以下の通りである(従業員500人以上の大規模企業は集計に含めていない)。

1. 売上高（前年度比増減率）

2018年度の実績(回答社数271社)は、前年度比+3.3%と前回調査から0.1%ポイント上方修正され、2年連続の増収となっている。製造業(同+1.5%)については、紙加工・印刷や精密機械、食品などが減収となったものの、電気機械や一般機械、その他製造や化学、金属製品や窯業・土石などが増収となったことから、全体でも前年実績を上回っている。また、非製造業(同4.4%)については、食品卸や和装繊維卸が減収となったものの、不動産業や運輸・倉庫業が大幅増収となったほか、その他卸や機械器具卸、建設業などでも増収となったことから全体としても2年連続の増収となっている。

2019年度計画(回答社数269社)については、前年度比+1.8%と3年連続での増収を計画している。製造業(同+0.9%)は7年連続、非製造業(同+2.4%)は3年連続の増収計画となっている。

《売上高の動き》		(前年度比増減率:%)		
		2017年度実績	2018年度実績	2019年度計画
全産業 (271社)	+2.3	+3.3 (+0.1)	+1.8	269社
製造業 (133社)	+6.6	+1.5 (+0.6)	+0.9	141社
非製造業 (138社)	+0.0	+4.4 (▲0.2)	+2.4	128社
中規模企業 (70社)	+5.8	+4.0 (+0.1)	+2.0	80社
小規模企業 (201社)	▲7.0	+1.6 (+0.1)	+1.0	189社
(参考)				
(大規模企業) (10社)	+10.3	+5.3 (0.0)	+6.8	13社

(注)「2018年度実績」欄の()内は、前回調査からの修正幅(%ポイント)

2. 経常利益（前年度比増減率）

2018年度の実績(回答社数250社)は、前年度比+3.3%と増益幅は前回調査から3.1%ポイント上方修正され、9年連続の増益となった。製造業(同+0.7%)については、7年連続の増益となった。食品や紙加工・印刷、精密機械などが大幅減益となったものの、一般機械や化学、その他製造などが増益となった。一方、非製造業(同+7.2%)については、建設業や機械器具卸、その他繊維卸が大幅減益となったものの、サービス業やその他卸、不動産業などが大幅増益となったほか、小売業や運輸・倉庫業でも増益となったことから、2年連続で増益となった。

2019年度計画(回答社数248社)については、前年度比+1.1%と10年連続の増益を計画している。製造業(同+4.8%)については、8年連続の増益計画となっている。一方、非製造業(同▲4.1%)については、3年ぶりの減益計画となっている。

《経常利益の動き》		(前年度比増減率:%)		
		2017年度実績	2018年度実績	2019年度計画
全産業 (250社)	+12.7	+3.3 (+3.1)	+1.1	248社
製造業 (123社)	+18.0	+0.7 (+6.5)	+4.8	128社
非製造業 (127社)	+5.4	+7.2 (▲2.1)	▲4.1	120社
中規模企業 (69社)	+8.1	+9.8 (+2.7)	+4.7	76社
小規模企業 (181社)	+25.7	▲10.0 (+3.5)	▲9.9	172社
(参考)				
(大規模企業) (10社)	▲11.7	+40.9 (0.0)	+4.2	13社

(注)「2018年度実績」欄の()内は、前回調査からの修正幅(%ポイント)

3. 設備投資額（前年度比増減率）

2018年度の実績(回答社数 187 社)は、前回調査から 7.4%ポイント上方修正されたものの、前年度比▲7.2%と 2 年連続の減額となった。業種別にみると製造業(同+13.3%)が 2 年ぶりに増額となる一方、非製造業(同▲34.9%)は 4 年連続で減額となった。

2019年度計画(回答社数 190 社)については、前年度比+21.7%と 3 年ぶりの増額計画となっている。製造業(同+6.7%)が前年度に引き続き 2 年連続の増額計画で、非製造業(同+62.2%)は 5 年ぶりの大幅増額計画となっている。ただ、景気の先行き不透明感を反映して、実施時期を見極めようとする動きが見られ不確実性が増している。

		(前年度比増減率:%)		
《設備投資の動き》		2017年度実績	2018年度実績	2019年度計画
全	産 業 (187 社)	▲ 7.4	▲ 7.2 (+7.4)	+21.7 190 社
	製 造 業 (96 社)	▲ 4.9	+13.3 (+10.1)	+6.7 101 社
	非 製 造 業 (91 社)	▲ 12.5	▲ 34.9 (+3.6)	+62.2 89 社
	中 規 模 企 業 (56 社)	▲ 12.7	+6.1 (+9.7)	+19.8 62 社
	小 規 模 企 業 (131 社)	+13.2	▲ 30.4 (+4.0)	+27.6 128 社
(参考)				
	(大規模企業) (9 社)	+54.4	+28.4 (+0.2)	+122.2 11 社

(注)「2018年度実績」欄の()内は、前回調査からの修正幅(%ポイント)

4-(1). IT投資（前年度比増減率）

2018年度の実績（回答社数 142 社）は、前年度比+44.9%と前回調査から 34.1%ポイント上方修正され、増額となった。非製造業(同▲7.0%)は減額となったものの、製造業(同+76.5%)が増額となっており、製造業を中心に積極的な投資姿勢が窺える。

2019年度計画(回答社数 152 社)についても、前年度比+7.0%ともう一段の増額を計画している。非製造業(同▲11.8%)は減額となったものの、製造業(同+13.7%)が増額計画となった。

		(前年度比増減率:%)		
《IT投資の動き》		2017年度実績	2018年度実績	2019年度計画
全	産 業 (142 社)	+53.7	+44.9 (+34.1)	+7.0 152 社
	製 造 業 (75 社)	+32.0	+76.5 (+53.7)	+13.7 77 社
	非 製 造 業 (67 社)	+104.2	▲ 7.0 (▲ 0.4)	▲ 11.8 75 社
	中 規 模 企 業 (44 社)	+48.1	+54.5 (+41.6)	+2.4 50 社
	小 規 模 企 業 (98 社)	+90.4	+9.4 (+5.8)	+34.2 102 社
(参考)				
	(大規模企業) (6 社)	+9.1	+9.8 (▲ 0.1)	+376.0 7 社

(注)「2018年度実績」欄の()内は、前回調査からの修正幅(%ポイント)

4-(2). 研究開発費（前年度比増減率）

2018年度の実績（回答社数 98 社）については、前年度比+13.6%となっている。製造業(同+12.7%)、非製造業(同+166.7%)ともに増額となった。

2019年度計画(回答社数 128 社)については、前年度比+13.9%ともう一段の増額を計画している。製造業(同+13.6%)、非製造業(同+30.4%)ともに増額計画となっている。

		(前年度比増減率:%)		
《研究開発費の動き》		2017年度実績	2018年度実績	2019年度計画
全	産 業 (98 社)	-	+13.6 (+1.2)	+13.9 128 社
	製 造 業 (56 社)	-	+12.7 (+0.5)	+13.6 69 社
	非 製 造 業 (42 社)	-	+166.7 (+149.5)	+30.4 59 社
	中 規 模 企 業 (33 社)	-	+16.0 (+3.7)	+13.8 41 社
	小 規 模 企 業 (65 社)	-	+7.1 (▲ 5.5)	+14.9 87 社
(参考)				
	(大規模企業) (6 社)	-	+23.4 (▲ 0.4)	▲ 5.4 7 社

(注)「2018年度実績」欄の()内は、前回調査からの修正幅(%ポイント)

IV. 付表・付図

付表 項目別DIと主な変動業種

付表1 業況判断 (「良い」-「悪い」)

○変動のあった主な業種(製造業、非製造業別)

製造業	改善した主な業種	DI値の動き
	化学	+40(±0→+40)
	輸送機械	+31(▲14→+17)
	その他製造	+13(▲20→▲7)
	悪化した主な業種	DI値の動き
	木材・木製品	▲50(▲17→▲67)
	電気機械	▲25(▲11→▲36)
	精密機械	▲22(▲13→▲35)
一般電気	▲21(+24→+3)	

非製造業	改善した主な業種	DI値の動き
	建設業	+17(+2→+19)
	その他繊維卸	+40(▲40→±0)
	和装繊維卸	+23(▲80→▲57)
	悪化した主な業種	DI値の動き
	機械器具卸	▲49(+9→▲40)

	(社数)	2019年					
		11月	2月	5月	8月	(前回予想)	11月予想
全産業	(424)	▲2	▲6	▲9	▲11	(▲10)	▲8
製造業	(216)	▲2	▲5	▲8	▲15	(▲7)	▲7
和装繊維	(9)	0	▲11	0	▲11	(0)	▲11
その他繊維	(12)	▲42	▲43	▲25	▲25	(▲17)	▲17
金属製品	(24)	4	22	0	▲4	(▲18)	▲17
機械業種	(78)	16	16	1	▲17	(3)	▲5
一般機械	(30)	23	25	24	3	(28)	7
電気機械	(25)	14	8	▲11	▲36	(▲11)	▲16
輸送機械	(6)	▲14	0	▲14	17	(▲14)	▲17
精密機械	(17)	18	15	▲13	▲35	(▲13)	▲6
食料品	(31)	▲33	▲37	▲30	▲32	(▲15)	▲6
木材・木製品	(6)	▲17	▲50	▲17	▲67	(▲33)	▲50
紙加工・印刷	(18)	▲33	▲33	▲21	▲22	(▲26)	▲22
化学	(10)	10	8	0	40	(9)	30
プラスチック製品	(7)	0	▲14	▲17	▲29	(0)	▲14
窯業・土石	(7)	29	43	33	29	(33)	14
その他製造	(14)	0	▲27	▲20	▲7	(▲13)	14
非製造業	(208)	▲2	▲7	▲10	▲6	(▲14)	▲8
卸売業	(66)	▲3	▲12	▲18	▲17	(▲14)	▲8
和装繊維卸	(7)	▲57	▲67	▲80	▲57	(▲40)	▲71
その他繊維卸	(8)	▲11	▲20	▲40	0	(▲30)	▲13
機械器具卸	(10)	20	20	9	▲40	(▲18)	▲10
食料品卸	(6)	▲33	0	17	17	(0)	17
その他卸	(35)	8	▲11	▲17	▲11	(▲6)	3
小売業	(31)	▲13	▲10	▲10	▲16	(▲23)	▲10
建設業	(43)	8	0	2	19	(▲7)	▲7
不動産業	(14)	7	▲14	▲7	▲14	(▲7)	▲14
運輸・倉庫業	(21)	▲5	▲10	▲19	▲14	(▲24)	▲10
サービス業	(33)	▲6	3	▲9	0	(▲15)	▲6
大規模企業	(16)	7	▲17	0	▲25	(0)	▲19
中規模企業	(102)	▲11	▲14	▲17	▲19	(▲17)	▲9
小規模企業	(306)	0	▲3	▲7	▲8	(▲9)	▲7

○先行きに変動の予想される主な業種(製造業、非製造業別)

製造業	改善が見込まれる主な業種	DI値の動き
	その他製造	+21(▲7→+14)
	精密機械	+29(▲35→▲6)
	食料品	+26(▲32→▲6)
	電気機械	+20(▲36→▲16)
	木材・木製品	+17(▲67→▲50)
	プラスチック製品	+15(▲29→▲14)
	悪化が見込まれる主な業種	DI値の動き
	金属製品	▲13(▲4→▲17)
	輸送機械	▲34(+17→▲17)
窯業・土石	▲15(+29→+14)	
化学	▲10(+40→+30)	

非製造業	改善が見込まれる主な業種	DI値の動き
	その他卸	+14(▲11→+3)
	機械器具卸	+30(▲40→▲10)
	悪化が見込まれる主な業種	DI値の動き
建設業	▲26(+19→▲7)	

付表2 製品・商品の受注・需要（「強い」－「弱い」）

○変動のあった主な業種（製造業、非製造業別）

	上昇した主な業種	DI値の動き
	化学	+40(±0→+40)
その他製造	+20(▲20→±0)	
	低下した主な業種	DI値の動き
	木材・木製品	▲17(▲50→▲67)
食料品	▲14(▲21→▲35)	
紙加工・印刷	▲12(▲21→▲33)	
金属製品	▲11(▲14→▲25)	
電気機械	▲10(▲26→▲36)	
精密機械	▲54(+7→▲47)	
一般機械	▲13(+10→▲3)	
窯業・土石	▲19(+33→+14)	

	上昇した主な業種	DI値の動き
	建設業	+11(▲9→+2)
和装繊維卸	+43(▲100→▲57)	
その他繊維卸	+17(▲30→▲13)	
	低下した主な業種	DI値の動き
	不動産業	▲15(±0→▲15)

	(社数)	2018年	2019年				11月予想
		11月	2月	5月	8月	(前回比)	
全産業	(418)	0	▲9	▲14	▲17	(▲3)	▲13
製造業	(216)	3	▲9	▲13	▲22	(▲9)	▲14
和装繊維	(9)	▲44	▲33	▲25	▲22	(+3)	▲11
その他繊維	(12)	▲33	▲50	▲25	▲25	(±0)	▲25
金属製品	(24)	24	4	▲14	▲25	(▲11)	▲33
機械業種	(78)	24	9	▲4	▲23	(▲19)	▲15
一般機械	(30)	29	6	10	▲3	(▲13)	0
電気機械	(25)	29	4	▲26	▲36	(▲10)	▲24
輸送機械	(6)	14	33	0	0	(±0)	▲50
精密機械	(17)	12	15	7	▲47	(▲54)	▲18
食料品	(31)	▲27	▲33	▲21	▲35	(▲14)	▲10
木材・木製品	(6)	▲33	▲50	▲50	▲67	(▲17)	▲50
紙加工・印刷	(18)	▲22	▲39	▲21	▲33	(▲12)	▲28
化学	(10)	0	17	0	40	(+40)	30
プラスチック製品	(7)	▲20	▲14	▲50	▲43	(+7)	0
窯業・土石	(7)	14	43	33	14	(▲19)	14
その他製造	(14)	13	▲7	▲20	0	(+20)	7
非製造業	(202)	▲3	▲9	▲14	▲12	(+2)	▲12
卸売業	(66)	▲10	▲15	▲25	▲20	(+5)	▲8
和装繊維卸	(7)	▲86	▲67	▲100	▲57	(+43)	▲57
その他繊維卸	(8)	▲11	▲50	▲30	▲13	(+17)	▲13
機械器具卸	(10)	20	0	▲36	▲40	(▲4)	▲10
食料品卸	(6)	▲33	▲17	17	17	(±0)	17
その他卸	(35)	0	0	▲17	▲14	(+3)	0
小売業	(30)	▲23	▲26	▲26	▲30	(▲4)	▲24
建設業	(43)	16	4	▲9	2	(+11)	▲12
不動産業	(13)	0	▲14	0	▲15	(▲15)	▲46
運輸・倉庫業	(19)	17	11	▲5	▲5	(±0)	▲5
サービス業	(31)	▲13	▲10	0	▲3	(▲3)	0
大規模企業	(14)	8	▲10	0	▲29	(▲29)	▲21
中規模企業	(99)	▲9	▲17	▲17	▲25	(▲8)	▲12
小規模企業	(305)	2	▲7	▲13	▲14	(▲1)	▲13

付表3 操業度（「高水準」－「低水準」）～製造業のみ～

○変動のあった主な業種（製造業）

	上昇した主な業種	DI値の動き	
			化学
製造業	金属製品	+13(▲5→+8)	
	和装繊維	+27(▲38→▲11)	
	低下した主な業種		DI値の動き
	精密機械	▲19(±0→▲19)	
	木材・木製品	▲17(±0→▲17)	
	電気機械	▲28(+4→▲24)	
	一般機械	▲28(+38→+10)	

	(社数)	2018年		2019年			
		11月	2月	5月	8月	(前回比)	11月予想
製造業	(215)	11	7	1	▲6	(▲7)	0
和装繊維	(9)	▲22	▲22	▲38	▲11	(+27)	▲22
その他繊維	(12)	▲25	▲43	▲25	▲25	(±0)	▲17
金属製品	(24)	12	22	▲5	8	(+13)	▲4
機械業種	(77)	30	21	15	▲8	(▲23)	▲3
一般機械	(30)	35	31	38	10	(▲28)	13
電気機械	(25)	32	19	4	▲24	(▲28)	▲16
輸送機械	(6)	14	17	0	0	(±0)	▲17
精密機械	(16)	24	0	0	▲19	(▲19)	▲6
食料品	(31)	0	▲3	▲11	▲19	(▲8)	10
木材・木製品	(6)	▲33	0	0	▲17	(▲17)	▲50
紙加工・印刷	(18)	▲11	▲17	▲11	▲11	(±0)	▲6
化学	(10)	0	33	18	30	(+12)	20
プラスチック製品	(7)	20	0	▲17	▲14	(+3)	0
窯業・土石	(7)	29	71	50	43	(▲7)	43
その他製造	(14)	20	▲20	▲7	0	(+7)	21

付表4 在庫（「過剰」－「不足」）

○変動のあった主な業種（製造業、非製造業別）

	増加した主な業種	DI値の動き	
			電気機械
製造業	精密機械	+11(+13→+24)	
	減少した主な業種		DI値の動き
	化学	▲10(±0→▲10)	
	プラスチック製品	▲47(+33→▲14)	
	その他製造	▲13(+13→±0)	

	増加した主な業種	DI値の動き	
			食料品卸
非製造業	減少した主な業種		DI値の動き
	不動産業	▲21(▲29→▲50)	
	和装繊維卸	▲17(+60→+43)	
	機械器具卸	▲17(+27→+10)	

	(社数)	2018年		2019年			
		11月	2月	5月	8月	(前回比)	11月予想
全産業	(407)	2	2	5	3	(▲2)	0
製造業	(213)	7	1	7	6	(▲1)	3
和装繊維	(8)	25	38	14	25	(+11)	25
その他繊維	(12)	25	▲7	0	8	(+8)	0
金属製品	(24)	8	▲9	5	8	(+3)	8
機械業種	(77)	0	5	4	10	(+6)	4
一般機械	(29)	▲3	▲3	0	0	(±0)	▲3
電気機械	(25)	▲7	12	4	16	(+12)	8
輸送機械	(6)	14	0	0	0	(±0)	0
精密機械	(17)	12	15	13	24	(+11)	12
食料品	(30)	7	3	15	7	(▲8)	▲3
木材・木製品	(6)	▲17	▲33	0	0	(±0)	0
紙加工・印刷	(18)	11	6	11	11	(±0)	11
化学	(10)	0	8	0	▲10	(▲10)	▲10
プラスチック製品	(7)	0	▲29	33	▲14	(▲47)	0
窯業・土石	(7)	0	▲29	▲17	▲29	(▲12)	▲14
その他製造	(14)	27	13	13	0	(▲13)	7
非製造業	(194)	▲3	2	4	▲1	(▲5)	▲3
卸売業	(66)	19	13	22	15	(▲7)	6
和装繊維卸	(7)	43	33	60	43	(▲17)	29
その他繊維卸	(8)	33	20	30	25	(▲5)	13
機械器具卸	(10)	10	10	27	10	(▲17)	0
食料品卸	(6)	17	17	17	33	(+16)	0
その他卸	(35)	14	9	14	6	(▲8)	3
小売業	(31)	▲10	3	▲6	▲3	(+3)	▲3
建設業	(39)	▲15	▲5	2	0	(▲2)	0
不動産業	(14)	▲40	▲29	▲29	▲50	(▲21)	▲43
運輸・倉庫業	(17)	▲21	7	0	▲6	(▲6)	0
サービス業	(27)	▲4	▲4	▲8	▲11	(▲3)	▲11
大規模企業	(14)	8	0	0	21	(+21)	0
中規模企業	(97)	6	10	15	19	(+4)	9
小規模企業	(296)	0	▲1	3	▲3	(▲6)	▲3

付表5 仕入価格（「上昇」－「下落」）

○変動のあった主な業種（製造業、非製造業別）

製造業	上昇傾向を強めた業種	DI値の動き
	木材・木製品	+17(+50→+67)
	上昇傾向を緩めた業種	DI値の動き
	輸送機械	▲29(+29→±0)
	化学	▲44(+64→+20)
	金属製品	▲28(+41→+13)

非製造業	上昇傾向を緩めた業種	DI値の動き
	食料品卸	▲33(+33→±0)
	小売業	▲46(+65→+19)
	運輸・倉庫業	▲39(+60→+21)
	不動産業	▲28(+64→+36)
	和装繊維卸	▲23(+80→+57)
	その他卸	▲15(+49→+34)

	(社数)	2018年		2019年			
		11月	2月	5月	8月	(前回比)	11月予想
全産業	(418)	43	37	41	29	(▲12)	27
製造業	(216)	41	39	37	30	(▲7)	22
和装繊維	(9)	11	44	13	11	(▲2)	22
その他繊維	(12)	58	43	33	33	(±0)	42
金属製品	(24)	56	30	41	13	(▲28)	4
機械業種	(78)	35	34	29	26	(▲3)	15
一般機械	(30)	42	38	38	30	(▲8)	17
電気機械	(25)	21	36	25	28	(+3)	8
輸送機械	(6)	14	33	29	0	(▲29)	0
精密機械	(17)	53	23	20	24	(+4)	29
食料品	(31)	27	37	32	32	(±0)	32
木材・木製品	(6)	50	33	50	67	(+17)	50
紙加工・印刷	(18)	44	56	53	44	(▲9)	22
化学	(10)	60	42	64	20	(▲44)	20
プラスチック製品	(7)	40	43	33	43	(+10)	29
窯業・土石	(7)	57	43	33	29	(▲4)	29
その他製造	(14)	60	53	53	57	(+4)	36
非製造業	(202)	45	35	46	28	(▲18)	32
卸売業	(66)	40	33	34	24	(▲10)	27
和装繊維卸	(7)	71	67	80	57	(▲23)	57
その他繊維卸	(8)	11	0	0	0	(±0)	13
機械器具卸	(10)	10	0	0	0	(±0)	20
食料品卸	(6)	33	33	33	0	(▲33)	3
その他卸	(35)	50	46	49	34	(▲15)	26
小売業	(31)	33	35	65	19	(▲46)	23
建設業	(42)	49	43	42	36	(▲6)	38
不動産業	(14)	60	43	64	36	(▲28)	29
運輸・倉庫業	(19)	72	26	60	21	(▲39)	32
サービス業	(30)	40	27	38	37	(▲1)	43
大規模企業	(14)	31	20	23	14	(▲9)	7
中規模企業	(101)	34	29	37	26	(▲11)	19
小規模企業	(303)	47	40	43	31	(▲12)	30

付表6 販売価格（「上昇」－「下落」）

○変動のあった主な業種（製造業、非製造業別）

製造業	上昇した主な業種	DI値の動き
	食料品	+12(+7→+19)
	化学	+20(±0→+20)
	その他繊維	+16(▲8→+8)
	上昇傾向を緩めた業種	DI値の動き
	窯業・土石	▲19(+33→+14)
	紙加工・印刷	▲10(+16→+6)

非製造業	上昇した主な業種	DI値の動き
	運輸・倉庫業	+10(±0→+10)
	下落した主な業種	DI値の動き
	和装繊維卸	▲29(±0→▲29)
	食料品卸	▲17(+17→±0)

	(社数)	2018年		2019年			
		11月	2月	5月	8月	(前回比)	11月予想
全産業	(417)	7	6	6	5	(▲1)	6
製造業	(216)	▲1	0	1	1	(±0)	2
和装繊維	(9)	▲11	0	0	0	(±0)	0
その他繊維	(12)	0	0	▲8	8	(+16)	0
金属製品	(24)	8	▲13	▲5	▲8	(▲3)	▲13
機械業種	(78)	▲6	▲4	▲4	▲8	(▲4)	▲1
一般機械	(30)	0	0	▲3	▲3	(±0)	0
電気機械	(25)	▲15	▲8	▲4	▲12	(▲8)	▲4
輸送機械	(6)	▲14	▲17	0	0	(±0)	▲17
精密機械	(17)	0	0	▲7	▲12	(▲5)	6
食料品	(31)	0	7	7	19	(+12)	16
木材・木製品	(6)	0	17	0	0	(±0)	17
紙加工・印刷	(18)	▲17	6	16	6	(▲10)	0
化学	(10)	0	0	0	20	(+20)	10
プラスチック製品	(7)	20	▲29	▲17	▲14	(+3)	▲29
窯業・土石	(7)	14	0	33	14	(▲19)	14
その他製造	(14)	13	20	13	7	(▲6)	21
非製造業	(201)	15	13	10	9	(▲1)	9
卸売業	(66)	15	6	7	0	(▲7)	2
和装繊維卸	(7)	▲14	▲17	0	▲29	(▲29)	▲29
その他繊維卸	(8)	22	▲20	▲10	▲13	(▲3)	0
機械器具卸	(10)	0	0	▲9	0	(+9)	20
食料品卸	(6)	0	0	17	0	(▲17)	0
その他卸	(35)	25	20	17	9	(▲8)	3
小売業	(31)	13	23	19	10	(▲9)	19
建設業	(40)	26	23	19	28	(+9)	18
不動産業	(14)	13	14	0	▲7	(▲7)	▲21
運輸・倉庫業	(20)	11	5	0	10	(+10)	20
サービス業	(30)	7	12	7	10	(+3)	13
大規模企業	(14)	8	▲10	0	0	(±0)	▲7
中規模企業	(101)	▲5	▲1	▲6	2	(+8)	5
小規模企業	(302)	10	9	10	6	(▲4)	7

付表7 売上高（「強含み」－「弱含み」）

○変動のあった主な業種（製造業、非製造業別）

	上昇した主な業種	DI値の動き
製造業	その他製造	+20(▲27→▲7)
	プラスチック製品	+19(▲33→▲14)
	その他繊維	+17(▲50→▲33)
	低下した主な業種	DI値の動き
	精密機械	▲45(▲20→▲65)
	木材・木製品	▲34(▲33→▲67)
	金属製品	▲20(▲9→▲29)
	食料品	▲13(▲32→▲45)
	一般機械	▲21(+21→±0)

	上昇した主な業種	DI値の動き
非製造業	食料品卸	+33(▲50→▲17)
	その他繊維卸	+17(▲30→▲13)
	その他卸	+14(▲23→▲9)
	低下した主な業種	DI値の動き
	機械器具卸	▲21(▲9→▲30)
	小売業	▲16(▲19→▲35)
	不動産業	▲36(±0→▲36)
	運輸・倉庫	▲14(±0→▲14)

	(社数)	2018年		2019年			
		11月	2月	5月	8月	(前回比)	11月予想
全産業	(424)	▲11	▲13	▲14	▲19	(▲5)	▲13
製造業	(216)	▲10	▲15	▲15	▲23	(▲8)	▲15
和装繊維	(9)	▲11	▲11	▲13	▲22	(▲9)	▲11
その他繊維	(12)	▲67	▲64	▲50	▲33	(+17)	▲17
金属製品	(24)	8	9	▲9	▲29	(▲20)	▲29
機械業種	(78)	6	0	▲5	▲24	(▲19)	▲19
一般機械	(30)	3	13	21	0	(▲21)	▲17
電気機械	(25)	7	▲19	▲25	▲32	(▲7)	▲20
輸送機械	(6)	29	17	0	0	(±0)	▲33
精密機械	(17)	0	0	▲20	▲65	(▲45)	▲18
食料品	(31)	▲40	▲43	▲32	▲45	(▲13)	▲16
木材・木製品	(6)	▲33	▲50	▲33	▲67	(▲34)	▲67
紙加工・印刷	(18)	▲33	▲33	▲16	▲17	(▲1)	▲17
化学	(10)	▲10	0	0	40	(+40)	30
プラスチック製品	(7)	▲20	▲29	▲33	▲14	(+19)	14
窯業・土石	(7)	14	43	17	14	(▲3)	14
その他製造	(14)	0	▲20	▲27	▲7	(+20)	0
非製造業	(208)	▲11	▲11	▲13	▲14	(▲1)	▲12
卸売業	(66)	▲16	▲9	▲30	▲18	(+12)	▲9
和装繊維卸	(7)	▲100	▲67	▲100	▲57	(+43)	▲71
その他繊維卸	(8)	0	▲10	▲30	▲13	(+17)	▲13
機械器具卸	(10)	0	20	▲9	▲30	(▲21)	▲10
食料品卸	(6)	▲33	▲17	▲50	▲17	(+33)	17
その他卸	(35)	▲6	▲6	▲23	▲9	(+14)	0
小売業	(31)	▲10	▲29	▲19	▲35	(▲16)	▲19
建設業	(43)	▲4	0	2	7	(+5)	▲5
不動産業	(14)	▲7	▲29	0	▲36	(▲36)	▲43
運輸・倉庫業	(21)	▲5	▲5	0	▲14	(▲14)	▲10
サービス業	(33)	▲15	▲13	▲9	▲3	(+6)	▲6
大規模企業	(16)	▲7	▲25	▲7	▲38	(▲31)	▲19
中規模企業	(102)	▲18	▲15	▲23	▲21	(+2)	▲11
小規模企業	(306)	▲8	▲12	▲12	▲17	(▲5)	▲14

付表8 企業収益（「良い」－「悪い」）

○変動のあった主な業種（製造業、非製造業別）

	上昇した主な業種	DI値の動き
製造業	その他製造	+20(▲27→▲7)
	その他繊維	+17(▲50→▲33)
	低下した主な業種	DI値の動き
	精密機械	▲27(▲20→▲47)
	電気機械	▲25(▲11→▲36)
	食料品	▲10(▲29→▲39)
	一般機械	▲25(+28→+3)

	上昇した主な業種	DI値の動き
非製造業	和装繊維卸	+37(▲80→▲43)
	小売業	+10(▲26→▲16)
	運輸・倉庫業	+10(▲20→▲10)
	低下した主な業種	DI値の動き
	機械器具卸	▲23(▲27→▲50)

	(社数)	2018年		2019年			
		11月	2月	5月	8月	(前回比)	11月予想
全産業	(424)	▲9	▲12	▲14	▲15	(▲1)	▲13
製造業	(216)	▲5	▲10	▲11	▲18	(▲7)	▲13
和装繊維	(9)	▲11	11	0	0	(±0)	▲13
その他繊維	(12)	▲58	▲50	▲50	▲33	(+17)	▲25
金属製品	(24)	8	22	▲5	▲13	(▲8)	▲13
機械業種	(78)	12	4	1	▲21	(▲22)	▲13
一般機械	(30)	19	9	28	3	(▲25)	▲7
電気機械	(25)	11	▲4	▲11	▲36	(▲25)	▲24
輸送機械	(6)	▲14	0	▲14	0	(+14)	▲17
精密機械	(17)	12	8	▲20	▲47	(▲27)	▲6
食料品	(31)	▲27	▲40	▲29	▲39	(▲10)	▲26
木材・木製品	(6)	▲50	▲50	▲17	▲17	(±0)	▲17
紙加工・印刷	(18)	▲39	▲28	▲26	▲33	(▲7)	▲28
化学	(10)	10	▲17	▲9	20	(+29)	10
プラスチック製品	(7)	0	▲14	0	0	(±0)	▲14
窯業・土石	(7)	43	43	33	29	(▲4)	29
その他製造	(14)	0	▲20	▲27	▲7	(+20)	7
非製造業	(208)	▲13	▲14	▲17	▲11	(+6)	▲13
卸売業	(66)	▲13	▲15	▲21	▲20	(+1)	▲15
和装繊維卸	(7)	▲71	▲67	▲80	▲43	(+37)	▲57
その他繊維卸	(8)	▲33	▲20	▲30	0	(+30)	▲13
機械器具卸	(10)	10	20	▲27	▲50	(▲23)	▲30
食料品卸	(6)	▲33	0	▲17	▲17	(±0)	0
その他卸	(35)	0	▲17	▲9	▲11	(▲2)	▲6
小売業	(31)	▲30	▲13	▲26	▲16	(+10)	▲13
建設業	(43)	▲10	▲10	▲9	0	(+9)	▲12
不動産業	(14)	13	▲7	▲7	▲7	(±0)	▲14
運輸・倉庫業	(21)	▲20	▲24	▲20	▲10	(+10)	▲19
サービス業	(33)	▲9	▲16	▲12	▲6	(+6)	▲6
大規模企業	(16)	▲7	▲25	▲7	▲25	(▲18)	▲6
中規模企業	(102)	▲18	▲23	▲29	▲25	(+4)	▲18
小規模企業	(306)	▲6	▲8	▲9	▲10	(▲1)	▲12

付表9 雇用（「過剰」－「不足」）

○変動のあった主な業種（製造業、非製造業別）

	上昇した主な業種	DI値の動き
製造業	木材・木製品	+34(▲17→+17)
	和装繊維	+24(▲13→+11)
	紙加工・印刷	+36(▲42→▲6)
	精密機械	+27(▲33→▲6)
	電気機械	+20(▲32→▲12)
	食料品	+17(▲36→▲19)
	化学	+15(▲55→▲40)
	一般機械	+12(▲45→▲33)

	(社数)	2018年					2019年	
		11月	2月	5月	8月	(前回比)	11月予想	
全産業	(424)	▲43	▲43	▲38	▲31	(+7)	▲31	
製造業	(216)	▲39	▲39	▲34	▲19	(+15)	▲21	
和装繊維	(9)	▲11	▲11	▲13	11	(+24)	13	
その他繊維	(12)	▲8	▲29	▲8	▲17	(▲9)	▲17	
金属製品	(24)	▲44	▲48	▲18	▲13	(+5)	▲8	
機械業種	(78)	▲47	▲39	▲37	▲21	(+16)	▲22	
一般機械	(30)	▲45	▲44	▲45	▲33	(+12)	▲30	
電気機械	(25)	▲46	▲38	▲32	▲12	(+20)	▲13	
輸送機械	(6)	▲43	▲33	▲29	▲33	(▲4)	▲17	
精密機械	(17)	▲53	▲31	▲33	▲6	(+27)	▲24	
食料品	(31)	▲27	▲37	▲36	▲19	(+17)	▲32	
木材・木製品	(6)	▲50	▲17	▲17	17	(+34)	0	
紙加工・印刷	(18)	▲39	▲39	▲42	▲6	(+36)	▲11	
化学	(10)	▲40	▲42	▲55	▲40	(+15)	▲30	
プラスチック製品	(7)	▲20	▲71	▲50	▲43	(+7)	▲29	
窯業・土石	(7)	▲57	▲57	▲67	▲57	(+10)	▲27	
その他製造	(14)	▲40	▲40	▲33	▲29	(+4)	▲29	
非製造業	(208)	▲48	▲47	▲42	▲43	(▲1)	▲42	
卸売業	(66)	▲29	▲27	▲24	▲18	(+6)	▲23	
和装繊維卸	(7)	▲14	17	40	29	(▲11)	29	
その他繊維卸	(8)	0	0	▲10	0	(+10)	0	
機械器具卸	(10)	▲30	▲30	▲9	0	(+9)	▲20	
食料品卸	(6)	▲17	▲17	▲33	▲33	(±0)	▲33	
その他卸	(35)	▲42	▲43	▲40	▲34	(+6)	▲37	
小売業	(31)	▲57	▲61	▲48	▲52	(▲4)	▲48	
建設業	(43)	▲60	▲50	▲50	▲58	(▲8)	▲53	
不動産業	(14)	▲33	▲36	▲43	▲36	(+7)	▲36	
運輸・倉庫業	(21)	▲75	▲90	▲62	▲71	(▲9)	▲67	
サービス業	(33)	▲50	▲50	▲45	▲48	(▲3)	▲45	
大規模企業	(16)	▲60	▲42	▲53	▲31	(+22)	▲27	
中規模企業	(102)	▲43	▲51	▲39	▲31	(+8)	▲28	
小規模企業	(306)	▲42	▲41	▲37	▲30	(+7)	▲22	

付表10 設備投資（「積極的」－「抑制的」）

○変動のあった主な業種（製造業、非製造業別）

	上昇した主な業種	DI値の動き
製造業	輸送機械	+19(+14→+33)
	和装繊維	+41(▲63→▲22)
	木材・木製品	+17(▲50→▲33)
	低下した主な業種	DI値の動き
	紙加工・印刷	▲18(▲21→▲39)
	電気機械	▲11(▲21→▲32)
一般機械	▲17(+7→▲10)	

	上昇した主な業種	DI値の動き
非製造業	食料品卸	+17(±0→+17)
	機械器具卸	+38(▲18→+20)
	和装繊維卸	+17(▲60→▲43)
	建設業	+12(▲26→▲14)
	その他卸	+11(▲20→▲9)
	低下した主な業種	DI値の動き
	その他繊維卸	▲25(+11→▲14)
	不動産業	▲14(+21→+7)

	(社数)	2018年					2019年	
		11月	2月	5月	8月	(前回比)	11月予想	
全産業	(423)	▲8	▲8	▲11	▲9	(+2)	▲17	
製造業	(216)	▲5	▲6	▲12	▲13	(▲1)	▲19	
和装繊維	(9)	▲22	▲22	▲63	▲22	(+41)	▲25	
その他繊維	(12)	▲17	▲21	▲25	▲17	(+8)	▲17	
金属製品	(24)	▲8	9	▲9	▲17	(▲8)	▲29	
機械業種	(78)	7	▲6	▲4	▲10	(▲6)	▲24	
一般機械	(30)	▲3	6	7	▲10	(▲17)	▲33	
電気機械	(25)	4	▲19	▲21	▲32	(▲11)	▲32	
輸送機械	(6)	▲14	▲17	14	33	(+19)	▲17	
精密機械	(17)	41	▲8	0	6	(+6)	0	
食料品	(31)	▲27	▲10	▲29	▲23	(+6)	▲19	
木材・木製品	(6)	▲50	▲67	▲50	▲33	(+17)	▲50	
紙加工・印刷	(18)	▲17	▲17	▲21	▲39	(▲18)	▲39	
化学	(10)	30	25	27	30	(+3)	30	
プラスチック製品	(7)	0	14	0	14	(+14)	0	
窯業・土石	(7)	14	43	0	14	(+14)	14	
その他製造	(14)	0	▲13	▲7	▲7	(±0)	7	
非製造業	(207)	▲11	▲10	▲10	▲5	(+5)	▲15	
卸売業	(65)	▲24	▲11	▲17	▲6	(+11)	▲14	
和装繊維卸	(7)	▲43	▲33	▲60	▲43	(+17)	▲43	
その他繊維卸	(7)	▲44	0	11	▲14	(▲25)	▲29	
機械器具卸	(10)	▲30	0	▲18	20	(+38)	20	
食料品卸	(6)	▲50	▲33	0	17	(+17)	0	
その他卸	(35)	▲8	▲9	▲20	▲9	(+11)	▲17	
小売業	(31)	▲7	▲10	▲6	▲3	(+3)	▲23	
建設業	(43)	▲12	▲23	▲26	▲14	(+12)	▲14	
不動産業	(14)	7	0	21	7	(▲14)	0	
運輸・倉庫業	(21)	0	5	5	0	(▲5)	▲10	
サービス業	(33)	0	▲6	▲3	▲3	(±0)	▲24	
大規模企業	(16)	20	▲9	13	25	(+12)	6	
中規模企業	(102)	▲10	▲2	▲15	▲10	(+5)	▲13	
小規模企業	(305)	▲8	▲10	▲11	▲11	(±0)	▲20	

付表 11 資金繰り（「余裕」－「逼迫」）

○変動のあった主な業種（製造業、非製造業別）

製造業	低下した主な業種	DI値の動き
	その他繊維	▲16(+8→▲8)
	食料品	▲10(+7→▲3)
	木材・木製品	▲33(+33→±0)

非製造業	上昇した主な業種	DI値の動き
	その他繊維卸	+18(+20→+38)

	(社数)	2018年		2019年			11月予想
		11月	2月	5月	8月	(前回比)	
全産業	(424)	9	11	12	9	(▲3)	9
製造業	(216)	12	14	17	11	(▲6)	11
和装繊維	(9)	44	44	63	56	(▲7)	50
その他繊維	(12)	▲17	▲14	8	▲8	(▲16)	▲8
金属製品	(24)	4	17	18	13	(▲5)	8
機械業種	(78)	19	16	16	13	(▲3)	10
一般機械	(30)	26	19	24	20	(▲4)	13
電気機械	(25)	21	12	14	8	(▲6)	4
輸送機械	(6)	0	17	14	17	(+3)	17
精密機械	(17)	12	15	7	6	(▲1)	12
食料品	(31)	▲13	17	7	▲3	(▲10)	0
木材・木製品	(6)	17	0	33	0	(▲33)	17
紙加工・印刷	(18)	11	▲6	0	0	(±0)	11
化学	(10)	20	17	27	20	(▲7)	20
プラスチック製品	(7)	0	0	0	▲14	(▲14)	▲14
窯業・土石	(7)	43	43	33	43	(+10)	43
その他製造	(14)	20	20	20	21	(+1)	21
非製造業	(208)	7	8	7	8	(+1)	6
卸売業	(66)	10	16	10	11	(+1)	11
和装繊維卸	(7)	0	0	0	▲14	(▲14)	▲14
その他繊維卸	(8)	22	20	20	38	(+18)	38
機械器具卸	(10)	20	30	18	20	(+2)	20
食料品卸	(6)	▲17	33	0	0	(±0)	0
その他卸	(35)	11	11	9	9	(±0)	9
小売業	(31)	3	3	6	6	(±0)	10
建設業	(43)	2	4	4	9	(+5)	2
不動産業	(14)	27	21	21	14	(▲7)	21
運輸・倉庫業	(21)	0	▲5	5	0	(▲5)	0
サービス業	(33)	6	3	▲3	6	(+9)	▲3
大規模企業	(16)	13	18	27	6	(▲21)	13
中規模企業	(102)	21	18	12	14	(+2)	14
小規模企業	(306)	6	9	11	8	(▲3)	7

付表 12 金融機関借入増減（「増加」－「減少」）

○変動のあった主な業種（製造業、非製造業別）

製造業	上昇した主な業種	DI値の動き
	和装繊維	+39(▲14→+25)
	木材・木製品	+50(▲67→▲17)
	精密機械	+22(▲40→▲18)
低下した主な業種	DI値の動き	
電気機械	▲14(▲7→▲21)	
輸送機械	▲33(±0→▲33)	
その他製造	▲21(±0→▲21)	
紙加工・印刷	▲12(±0→▲12)	

非製造業	上昇した主な業種	DI値の動き
	食料品卸	+17(▲17→±0)
	低下した主な業種	DI値の動き
	その他繊維卸	▲30(▲20→▲50)
	その他卸	▲20(▲6→▲26)
	サービス業	▲10(▲3→▲13)
	不動産業	▲23(+23→±0)
和装繊維卸	▲26(+40→+14)	

	(社数)	2018年		2019年			11月予想
		11月	2月	5月	8月	(前回比)	
全産業	(415)	▲14	▲11	▲8	▲11	(▲3)	▲11
製造業	(212)	▲13	▲14	▲10	▲8	(+2)	▲10
和装繊維	(8)	▲25	▲38	▲14	25	(+39)	0
その他繊維	(12)	▲27	0	8	17	(+9)	▲8
金属製品	(24)	▲12	▲9	▲9	▲4	(+5)	▲17
機械業種	(76)	▲13	▲12	▲17	▲18	(+1)	▲14
一般機械	(29)	▲13	▲3	▲18	▲14	(+4)	▲10
電気機械	(24)	▲19	▲20	▲7	▲21	(▲14)	▲13
輸送機械	(6)	0	0	0	▲33	(▲33)	0
精密機械	(17)	▲12	▲23	▲40	▲18	(+22)	▲29
食料品	(31)	0	▲10	▲4	▲6	(▲2)	6
木材・木製品	(6)	▲67	▲50	▲67	▲17	(+50)	▲17
紙加工・印刷	(17)	6	0	0	▲12	(▲12)	▲12
化学	(10)	0	▲8	▲9	0	(+9)	▲10
プラスチック製品	(7)	0	▲14	17	14	(▲3)	0
窯業・土石	(7)	▲29	▲43	0	0	(±0)	0
その他製造	(14)	▲20	▲33	0	▲21	(▲21)	▲29
非製造業	(203)	▲15	▲7	▲7	▲14	(▲7)	▲11
卸売業	(66)	▲25	▲10	▲6	▲18	(▲12)	▲17
和装繊維卸	(7)	▲14	0	40	14	(▲26)	▲14
その他繊維卸	(8)	▲33	▲20	▲20	▲50	(▲30)	▲25
機械器具卸	(10)	▲30	▲10	▲9	0	(+9)	▲10
食料品卸	(6)	▲17	▲17	▲17	0	(+17)	17
その他卸	(35)	▲26	▲9	▲6	▲26	(▲20)	▲23
小売業	(30)	▲23	▲27	▲23	▲27	(▲4)	▲10
建設業	(40)	▲13	▲2	▲13	▲20	(▲7)	▲20
不動産業	(14)	▲7	0	23	0	(▲23)	▲7
運輸・倉庫業	(21)	15	5	5	14	(+9)	10
サービス業	(32)	▲12	0	▲3	▲13	(▲10)	▲3
大規模企業	(15)	0	▲10	7	20	(+13)	20
中規模企業	(99)	▲9	▲10	▲1	▲4	(▲3)	▲3
小規模企業	(301)	▲16	▲11	▲11	▲15	(▲4)	▲15

付図 業種別業況判断の推移（産業天気図）

		2016年		2017年				2018年				2019年			
		月8	月11	月2	月5	月8	月11	月2	月5	月8	月11	月2	月5	月8	月11
DI	全産業	▲14	▲11	▲9	▲3	1	2	5	4	1	▲2	▲6	▲9	▲11	▲8
	製造業	▲12	▲11	▲5	4	6	5	9	6	4	▲2	▲5	▲8	▲15	▲7
	非製造業	▲17	▲11	▲14	▲10	▲5	▲1	1	2	▲2	▲2	▲7	▲10	▲6	▲8
全産業		■	■	▲	▲	○	○	○	○	○	▲	▲	▲	▲	▲
製造業		■	■	▲	○	○	○	○	○	○	▲	▲	▲	▲	▲
	和装繊維	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	■	○	■	■
	その他繊維	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	金属製品	○	○	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	○	◎	○	▲	■
	機械業種	▲	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	一般機械	▲	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	電気機械	▲	■	▲	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	輸送機械	■	■	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	■	○	■	◎	■
	精密機械	○	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	食料品	○	■	○	○	▲	○	▲	■	■	■	■	■	■	▲
	木材・木製品	○	■	○	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	紙加工・印刷	■	■	■	■	○	■	■	▲	■	■	■	■	■	■
	化学	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎
	プラスチック製品	■	○	○	○	■	◎	○	◎	○	○	■	■	■	■
	窯業・土石	■	■	■	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	その他製造	▲	■	▲	▲	▲	■	○	■	■	○	■	■	▲	◎
非製造業		■	■	■	■	▲	▲	○	○	▲	▲	▲	■	▲	▲
	卸売業	■	■	■	■	▲	○	○	○	▲	▲	■	■	■	▲
	和装繊維卸	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	その他繊維卸	■	■	■	■	■	■	■	◎	▲	■	■	■	○	■
	機械器具卸	■	▲	○	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	■	■
	食料品卸	○	○	■	◎	○	◎	○	■	■	■	○	◎	◎	◎
	その他卸	■	■	■	■	○	◎	◎	◎	○	○	■	■	■	○
	小売業	■	■	■	■	■	■	■	▲	■	■	■	■	■	■
	建設業	○	▲	○	▲	▲	○	○	▲	○	○	○	○	◎	▲
	不動産業	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	■	▲	■	■
	運輸・倉庫業	○	▲	■	○	○	○	○	○	○	▲	■	■	■	■
	サービス業	■	▲	▲	▲	▲	■	▲	○	▲	▲	○	▲	○	▲

◎ DI:10以上
 ○ DI:0~9
 ▲ DI:▲1~▲9
 ■ DI:▲10以下